

支援プログラム

事業所名：児童発達支援センターしんほんまち「ふらっぴ」

作成日：2024年12月1日

法人（事業所）理念		誰もがその人らしく暮らせ かつ権利が守られ さらにその尊厳がいささかも損なわれることのない社会づくり		
支援方針		ご家族が子どもを愛おしいと思う気持ちを大切にそれをサポートしていきます。 生活習慣やコミュニケーション、社会性などを楽しい活動を通して習得できるようにそれぞれの発達や能力に応じて必要な支援を行います。		
営業時間		8時00分から18時30分まで	送迎実施の有無	(通常営業日) 学校へのお迎えのみ行います。 (学校休業日) 送迎は行いません。ご家族で送迎をお願いします。
		支援内容		
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善ができるよう日常の様子を把握し変化に気づけるようにします。本人の生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルが獲得できるように発達に応じて支援を行います。		
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、身体能力の向上等を目指した活動を取り入れます。姿勢保持が苦手な方には運動・動作の補助的手段を活用していきます。また、本人の持つ感覚の特性への対応にも取り組みます。		
	認知・行動	それぞれの認知の特性について理解し、本人に分かるような方法を用いて対応します。対象や外部環境の適切な認知とその場に対しての適切な行動が習得できるように、生活や活動をする中で具体的に伝えていきます。褒められる経験を積み重ね、自己肯定感を高めることで行動障害や二次障害を予防します。		
	言語 コミュニケーション	見て分かる写真やイラストを使ったものなど本人に合わせたコミュニケーションツールを用いて他者に伝える方法を習得できるようにします。日々の関わりの中で言葉を引き出せるようなアプローチをし、本人の成長に合わせて必要なコミュニケーションの活用、また状況に応じた方法を学べるよう支援します。		
	人間関係 社会性	情緒が安定し、伸び伸びと他者と関わっていけるよう環境を整えます。集団での遊びを通して他者と関わる楽しさや人間関係、ルールなどを学び、社会性の発達を促します。人間関係の中で自己理解を深め自身の行動の調整へつながるよう支援します。		
家族支援		ご家族から相談があれば、すぐに面談を行いお話を伺います。障害の特性に配慮した対応の仕方や環境設定など、必要に応じてアドバイスをします。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えて将来的な移行に向けた準備をしていきます。必要に応じて放課後児童クラブや他放課後等デイサービスと連携し移行をすすめます。
地域支援・地域連携		子どもに関わる地域の関係機関・障害福祉サービス事業所と連携した支援を行います。行事などを通して地域のボランティアとも触れ合う機会をつくります。	職員の質の向上	事業所内での支援会を定期的に行います。職員の経験年数や成長を考慮し外部の研修の機会をつくります。
主な行事等		≪利用児対象≫ ・プール ・ハロウィン ・親子行事 ・クリスマス会 ≪保護者対象≫ ・親子行事 ・外部講師による勉強会		